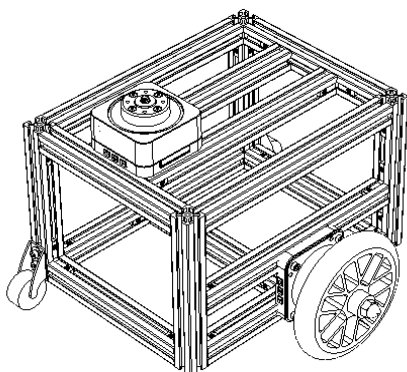


1 輪駆動ドリー組立

1



一輪駆動で動くロボットです。

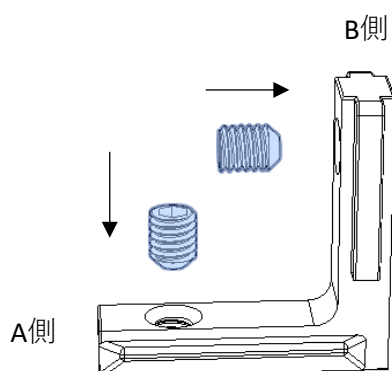
上にカメラなどを取り付けて動かすこともできます。

組立は平らな面の上で作業してください。

作業面が傷つかないように段ボールなどで保護してください。

組立てる際はフレーム同士に隙間ができないように組立てください。

2

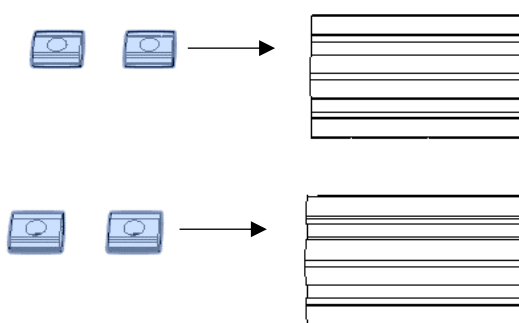


DLフレーム用ブラケットにあらかじめDLフレーム用ブラケットネジを入れておくとフレームの組み立てをスムーズに行えます。

DLフレーム用ブラケットネジは対辺2もしくは2.5のレンチを使用しDLフレームブラケットからはみ出さないように入れておいてください。

ブラケットは方向があります。説明の便宜上、サイドの耳が長いほうをA側、短いほうをB側とします。

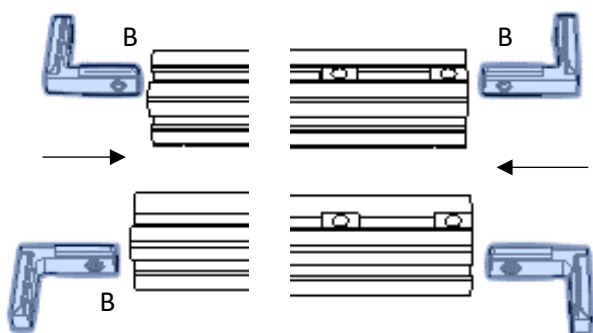
3



DLフレームB (L=220) 2本にフレーム用ナットM4をそれぞれ2つ挿入する

(ロボットスターターキットをお買い上げの方のみ付属します。ドリーのみの方には付属しません)

4

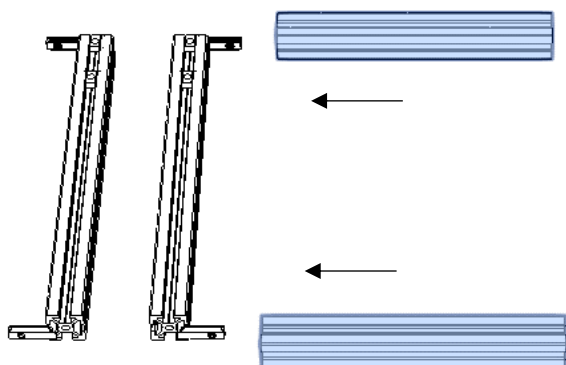


3でM4ナットを挿入したDLフレームBにDLフレーム用ブラケット (B側) を挿入します。

挿入箇所はナットを入れたレールから90度ずれた位置です。

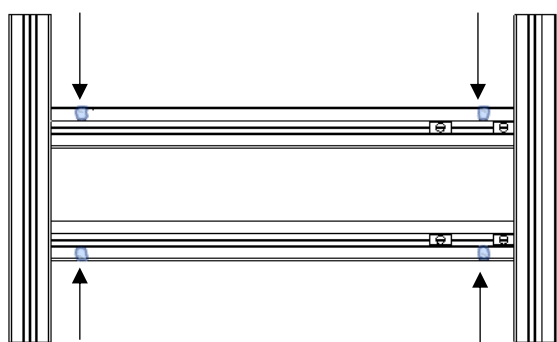
1輪駆動ドリー組立

5



DLフレームA (L=160) のレールに4で組み立てたDLフレーム用ブラケットを通します。

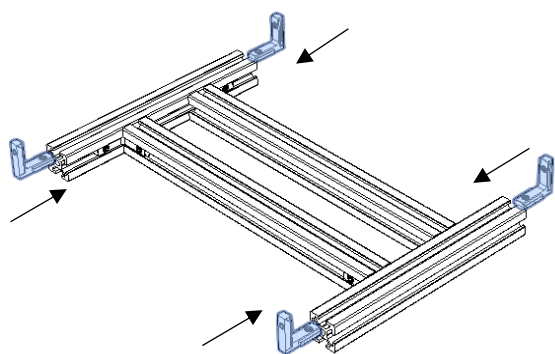
6



DLフレームAとBが90度になるようにしっかり押さえま
す。

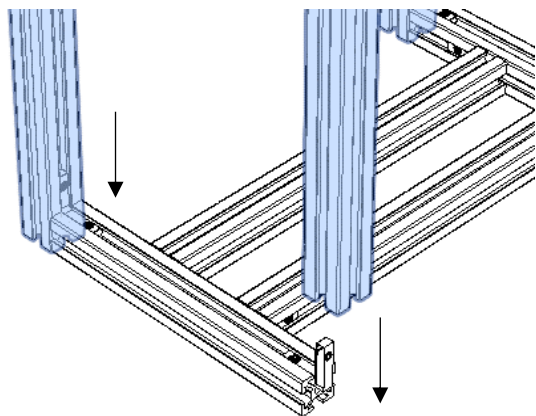
DLフレーム用ブラケットのネジを4か所締めます。
(DLフレームB側のネジのみ)

7



6で組立てたフレームを裏返します。
DLフレーム用ブラケット (B側) を挿入します。

8

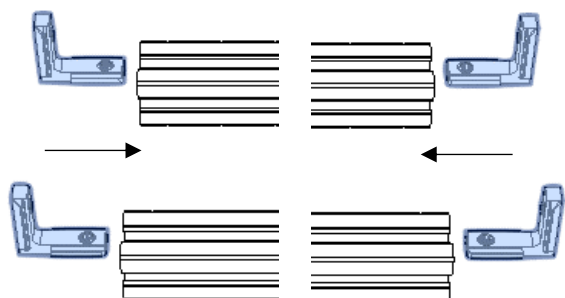


DLフレーム用ブラケット4か所にDLフレームA
(L=160) を挿入し、ネジでしっかり固定します。(ブ
ラケットA側、B側ともに)

DLフレームCは奥までしっかり挿入してから固定して
ください

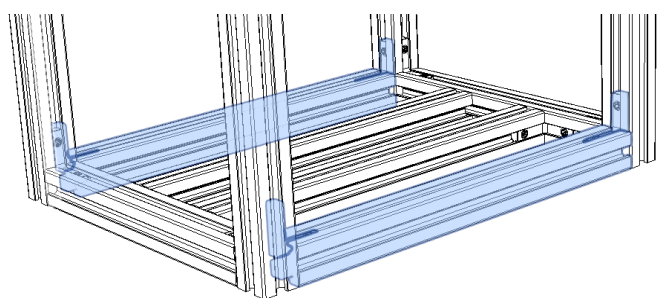
1輪駆動ドリー組立

9



DLフレームB (L=220) にDLフレーム用ブラケット (B側) を挿入します。

10

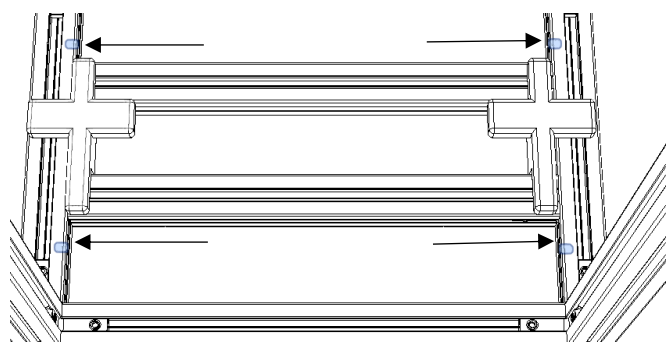


9で組み立てたDLフレーム用ブラケットを8で組み立てたDLフレームAに挿入し、ネジでしっかり固定します (ブラケットA側、B側ともに)

DLフレームは奥までしっかり挿入してから固定してください。

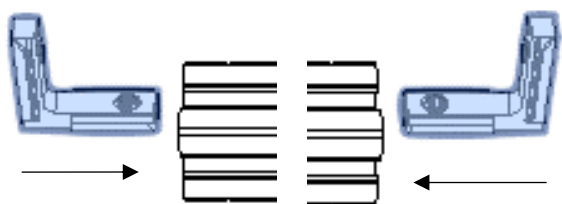
DLフレームAとBの面ががたつきがある場合はがたつきがなくなるようにねじを締めなおしてください。

11



真ん中のDLフレームBの間にブロックを挟んで大体中央になる位置でネジを4か所締めます。

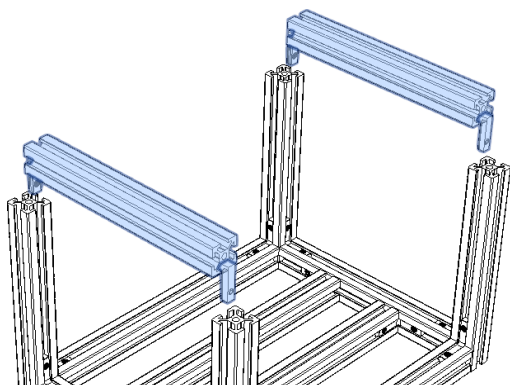
12



DLフレームA (L=160) にDLフレーム用ブラケット (B側) を挿入します。
同じものを二つ作ります。

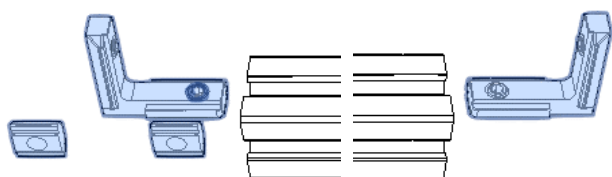
1輪駆動ドリー組立

13



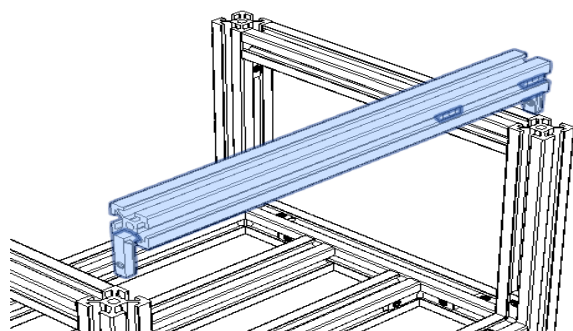
DLフレームA (L=160) のレールに12で組み立てたDLフレーム用ブラケットを通します。
この時点ではまだ固定しません。

14



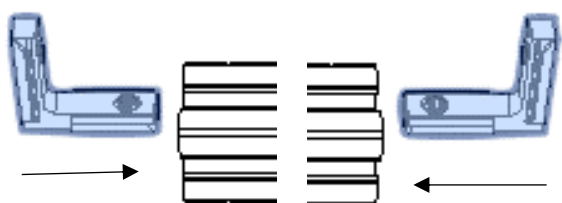
DLフレームB (L=220) にDLフレーム用ブラケット (B側) とを挿入します。
フレーム用ブラケットと90度ズレたレールにフレーム用ナットM4を2個挿入します。

15



14で組み立てたフレームに挿入します。
この時点ではまだ固定しません。
ナットが外側に向いていることを確認してください。

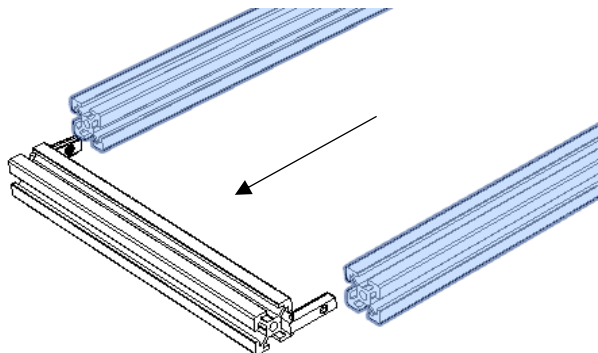
16



DLフレームA (L=160) にDLフレーム用ブラケット (B側) を挿入します。

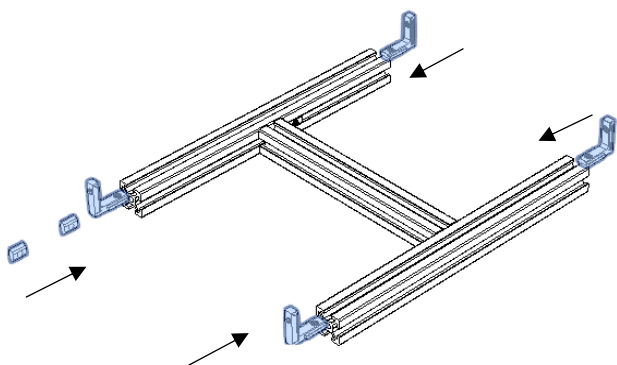
1輪駆動ドリー組立

17



DLフレームB (L=220) のレールに16で組み立てたDLフレーム用ブラケットを通します。

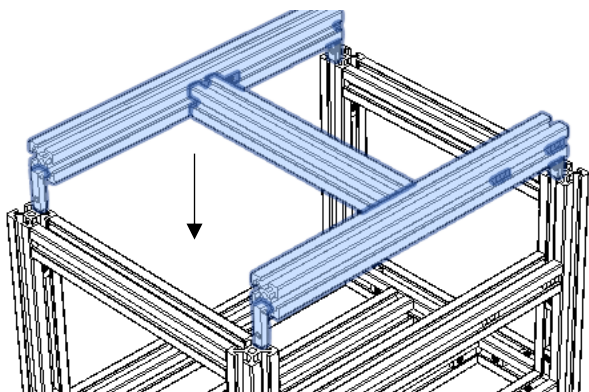
18



DLフレームB(L=220)にDLフレーム用ブラケット (B側) を挿入します。

一方のDLフレームB (L=220) の外側のレールにフレーム用ナットM4を2個挿入します。

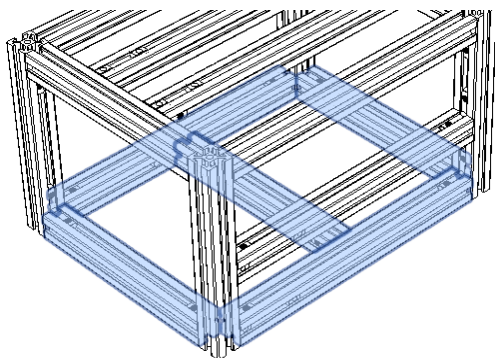
19



15の状態のフレームに組付けます。

この時ナットが外側を向いていることを確認してください。

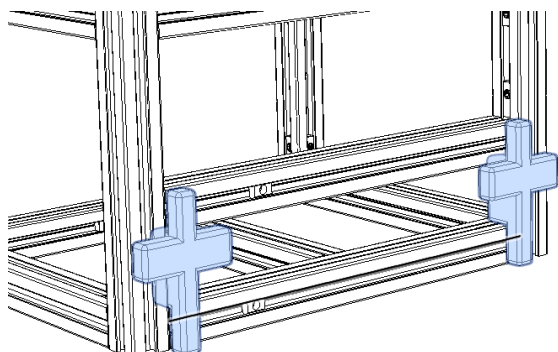
20



裏返して水平になるようにセットしてしっかり固定します。

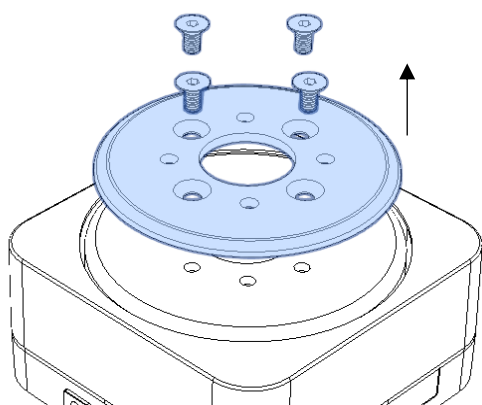
1輪駆動ドリー組立

21



ブロックを挟んで15で挿入したフレームを固定します。

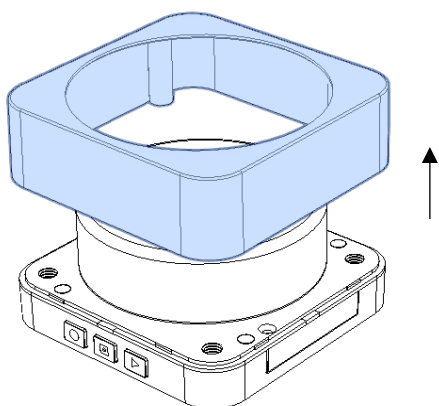
22



Keigan Motorに固定板がついている場合は外します。ネジを外す際は対辺が2のレンチを使用します。（付属レンチの小さいサイズのもの）

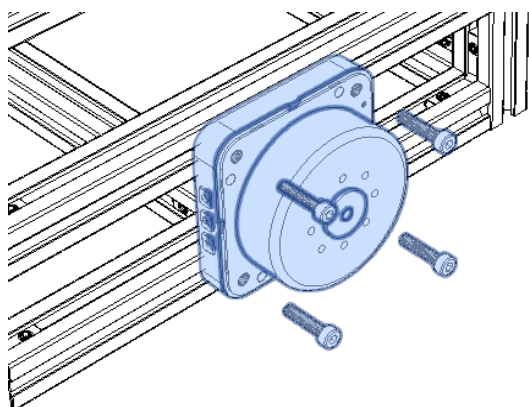
外したネジは使用しますのでなくさないでください。

23



モーター上カバーを外す

24



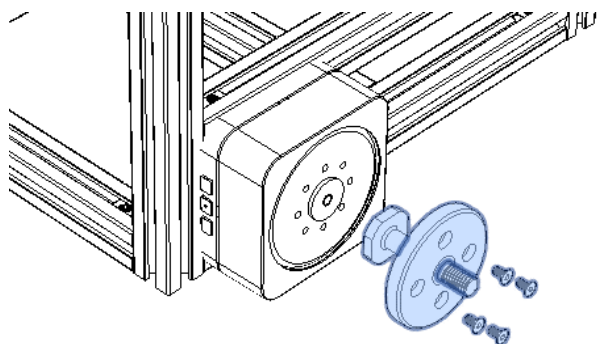
モーターを取付けます。モーター取付ネジをモーターの4隅の穴に通します。あらかじめフレームに挿入されたナットに固定します。まず、4か所とも仮でナットに固定してから本締めします。

モーターはボタンが図の方向になり、位置は中心に来るように固定してください。

レンチは対辺が3のものを使用してください。

1輪駆動ドリー組立

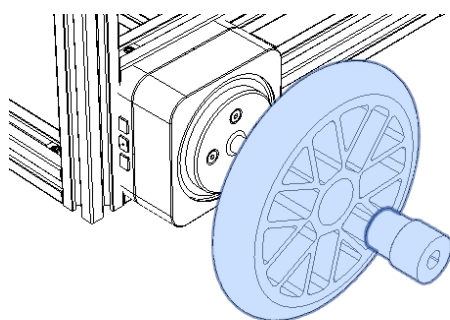
25



ドライブシャフト、ドライブシャフトカバーを取付けます。ドライブシャフトカバーは固定板を取り付けていたネジ(22で取り外したネジ)を使用して固定します。

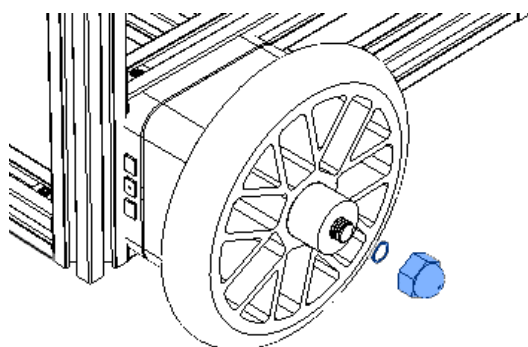
ねじ止めをしたのちモーター上カバーを取付けます。

26



ホイールを取付けます。ホイールを仮置きした後、タイヤ圧接軸の中のDの形状をシャフトのDの形状と合わせて挿入してください。

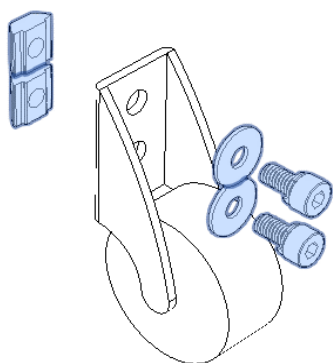
27



波ワッシャーと袋ナットでホイールを固定します。袋ナットは手締めで問題ありませんが、十分に締められない際はレンチやスパナなどで締めてください。

ただし締め付けすぎるとタイヤ圧接軸が破損する恐れがありますので注意してください。

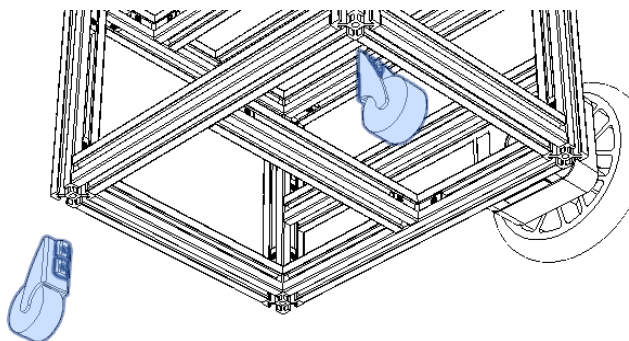
28



キャスターBにフレーム固定用ナットM4、キャスター取付ネジ、キャスター固定用ワッシャーを取り付けます。これを2つ作ります。

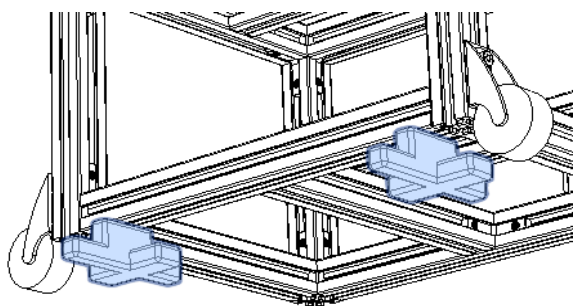
1輪駆動ドリー組立

29



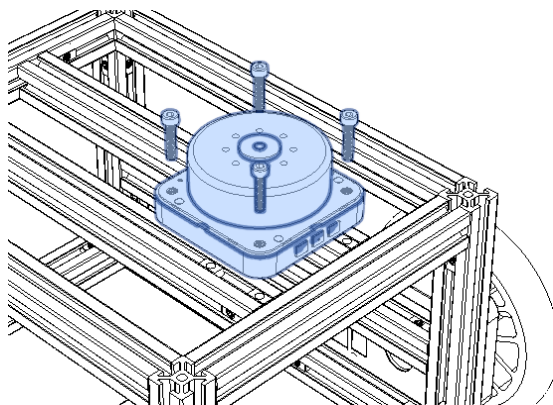
28で組み立てたキャスト-Bをフレームに組付けます。

30



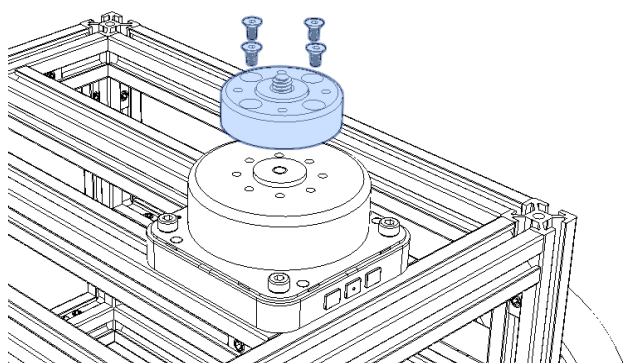
キャスト-Bの高さはブロックをフレームの下におくと調整しやすいです。

31



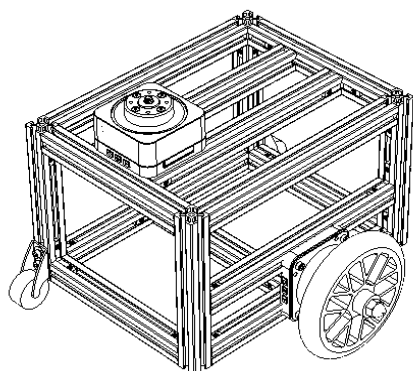
モーターを取付けます。モーター取付ネジをモーターの4隅の穴に通します。あらかじめフレームに挿入されたナットに固定します。まず、4か所とも仮でナットに固定してから一番前に寄せて本締めします。モーターはボタンが前になるように固定してください。レンチは対辺が3のものを使用してください。モーターの固定板と上カバーはあらかじめ外しておきます。

32



31で取り付けたモーターにカメラアダプタ上を取り付けます。取付は固定板取付に使用していたネジを使用してください。

1輪駆動ドリー組立



上カバーを付けて完成です。
カメラアダプタ上にお手持ちのスマートフォンやカメラを付けてご使用ください。
※スマートフォンを取り付ける際は三脚に取り付け可能なスマートフォンホルダーをご準備ください。

Keigan Coreを使って簡単に動かすことができます。
